

2009年度

| | | | |
|---|--|-----|-------|
| 科目名 | 美術史 | | |
| 担当教員 | 小林 典子 | | |
| 配当 | 教育3 | コード | 15060 |
| 開期 | 通年 | 講時 | 月曜日5限 |
| | | 単位数 | 4 |
| 授業テーマ | 絵画鑑賞入門ールネサンスから現代までー | | |
| 目的と概要 | ギリシア以来西洋美術の長く豊かな歴史の流れのなかでも、とくにルネサンス以降は多くの天才芸術家を生みすばらしい作品の数々を残しました。けれどもわたしたちは、それらの作品に接する時、その魅力には感動するけれども、何かもうひとつよく解らないという不満をもつことがよくあります。それは一体なぜだろう。すぐれた作品にアプローチするためには、それぞれの作品に即した解説方法を学ぶことがぜひとも必要です。この授業では、西洋美術の伝統を築いたルネサンスから現代までの代表的な名画をとりあげ、鑑賞に必要な基礎知識と分析の仕方を、スライドやビデオを見ながら学習します。 | | |
| 成績評価法 | 学期末に提出するレポート+平常点や授業時のミニ・レポート | | |
| テキスト | 『名画を見る眼』『続名画を見る眼』(高階秀爾 岩波書店) | | |
| 参考書 | 授業中に資料配布 必要に応じて指示 | | |
| 履修に 当たっての 注意・助言 | | | |
| 講義計画 | | | |
| <p>[前期授業]</p> <p>第1回 開講にあたって:授業プログラムとオリエンテーション</p> <p>第2回 「絵画を読む」</p> <p>第3回 ヤン・ファン・エイクと《アルノルフィニ夫妻の肖像》</p> <p>第4回 初期ネーデルラント絵画と図像解釈学</p> <p>第5回 ヒエロニムス・ボス/《メメント・モーリ》</p> <p>第6回 ボッティチェリ《春》と《ヴィーナスの誕生》</p> <p>第7回 レオナルド・ダ・ヴィンチ《モナ・リザ》</p> <p>第8回 レオナルド・ダ・ヴィンチの手稿と素描</p> <p>第9回 ラファエッロ《小椅子の聖母子》</p> <p>第10回 ベラスケスとゴヤ</p> <p>第11回 フェルメール《画家のアトリエ》</p> <p>第12回 「絵画の文法を知る」</p> <p>第13回 クールベとミレー</p> <p>第14回 マネ《オランピア》とスキャンダル</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>[後期授業]</p> <p>第1回 開講にあたって:授業プログラムとオリエンテーション</p> <p>第2回 続「絵画の文法を知る」</p> <p>第3回 印象派の誕生:モネ《印象・日の出》(1)</p> <p>第4回 印象派の誕生:モネ《印象・日の出》(2)</p> <p>第5回 ルノワール《ピアノの前の少女たち》</p> <p>第6回 セザンヌ《温室のなかのセザンヌ夫人》</p> <p>第7回 ファン・ゴッホ《アルルの寝室》</p> <p>第8回 ゴーガンとスーラー</p> <p>第9回 ダリとシュルレアリズム</p> <p>第10回 マティス《大きな赤い部屋》</p> <p>第11回 ピカソ《アヴィニョンの娘たち》</p> <p>第12回 抽象絵画への道:カンディンスキーとモンドリアン(1)</p> <p>第13回 抽象絵画への道:カンディンスキーとモンドリアン(2)</p> <p>第14回 デュシャンから現代絵画へ</p> <p>第15回 まとめ</p> | | | |